

麻生すこやか通信

VOL.
45

医療法人 札幌麻生脳神経外科病院 広報誌 2024年1月

新時代に向けて 2024

For a new era

新年おめでとうございます。昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、人流が活発化したことにより、経済活動が正常に戻りつつあります。当院でも入院患者さまの面会など、様々な制限を緩和しました。受診を控えていた患者さまも外来にいらっしゃるようになり、昨年の入院件数、手術件数はコロナ禍の3年間と比べて大きく増加しました。忙しい1年でしたが、治療を必要としている多くの患者さまのお役に立てたことを、医療者として幸せに感じております。11月には市民公開講座を開催し、100名以上の方にご参加いただきました。コロナ禍にはできなかった地域の皆さまとの交流ができるようになり、大変嬉しく思います。ただ一方で、ひとたび職員や患者さまの感染が確認されると、他の患者さまに拡げないためには以前と変わらない厳しい感染対策が必要となります。そのため、状況により皆さまにご協力をお願いする場面もあると思いますが、何卒ご理解をいただけますと有り難く存じます。

当院は1985年の開院以来、脳神経外科の高度医療の提供と地域の皆さまに寄り添った病院を目指して参りました。現在も、脳から脊髄・末梢神経まで、各分野のスペシャリストが在籍しており、また北海道大学病院のご協力も得ながら、最先端医療の提供に努めております。救急・急性期治療はもとより、リハビリ



理事長 齋藤 久泰

日本脳神経外科学会専門医、日本脳卒中学会認定専門医
日本脳卒中の外科学会技術認定医、北海道大学客室研究員

にも力を入れており、急性期から回復期、退院後の維持期まで切れ目のない治療提供ができることが当院の特徴です。医療機器の更新も随時行っており、昨年は4Kの最新内視鏡を導入し、脊髄疾患を中心に、より低侵襲の治療が可能になりました。リハビリ部門ではウェルウォークというロボットリハビリを導入し、患者さまの下肢麻痺改善に大きく役立っています。また、昨今のデジタル化の流れに則り、今年2月頃より外来でAI問診を導入する予定です。これにより、今までの問診票への記載が不要となり、患者さまご自身のスマートフォンや病院のタブレットから簡単に入力できるようになります。患者さまの負担軽減、待ち時間の短縮につながればと期待しております。

今後も「患者さま第一」の精神を大切にし、医療を取り巻く環境や患者さまのニーズの変化に柔軟に対応しながら、皆さまに選ばれる病院を目指して、職員一同努力して参ります。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

リハビリロボット

ウェルウォーク 導入しました!

実際の使い方としては、タッチパネルで下肢に装着するロボット脚の関節角度や下肢の振出のタイミング、歩行速度などを調整したり、体を吊り下げる免荷装置の免荷の程度などを調整してトレッドミル上を歩いていただきます。こうする事によって、立つことさえ困難な方の反復歩行練習を、一人ひとりに合わせた難易度で実施できます。さらに、患者さまからは楽しいという声もいただいております、喜んで練習していただける事が何より嬉しく思っています。リハビリは一日で成果が出るものではなく、すぐに結果がでるものではないため、続けていくと苦しくなってくる方も大勢います。そんな時に気持ちが前向きになって楽しくリハビリできる事にも貢献できるロボットだと思います。脳卒中で手足の麻痺が出てしまっても「歩いて家に帰る」という目標を掲げている方が大勢います。その目標をかなえるためにウェルウォークを広く活用していきたいと考えています。

リハビリテーション部では昨年9月に歩行補助ロボットである「ウェルウォーク」を導入しました。近年では、リハビリロボットの発展が著しく、効果についてもエビデンスが確立してきていますが、ロボットは高額なため、まだ多くの施設で導入されているわけではありません。ウェルウォークの導入は札幌市では当院で4施設目になります。

このウェルウォークは歩行ができない発症3か月以内の脳卒中患者に対して、歩行自立度の向上と歩行速度の改善に効果的であるとされています。当院でも発症3か月以内の脳卒中の患者さまに使用を開始し、早く歩けるようになったり、歩き方が綺麗になっていくのを実感しています。脳卒中だけではなく、脊髄疾患の歩行障害の方や慢性期の脳卒中の方にも適応があれば使用してみています。

ウェルウォークとは

トヨタ自動車が、脳卒中などが原因で、下肢麻痺になった患者さまのリハビリテーションを支援するために開発したロボットです。患者さまの状態に適したロボットのアシストにより、リハビリ初期から目標に近い歩行の形をつくることができ、自然な歩行練習を行うことが可能になります。

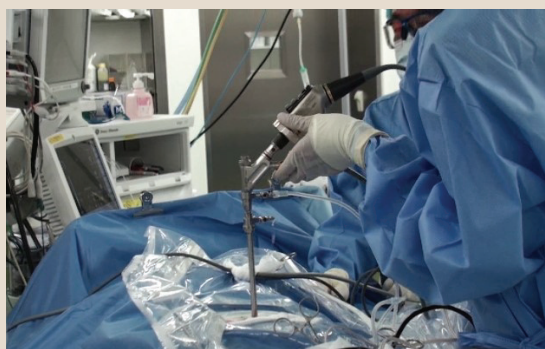


完全内視鏡下脊椎手術 FESS について



昨年7月から当院で完全内視鏡下脊椎手術 (Full-Endoscopic Spine Surgery: FESS) を実施することが可能となりました。これまでも内視鏡を補助的に使用した脊椎手術は全国的に行われていましたが、FESSの新しい点は、直径6-7mm

の内視鏡の中に、骨を削るドリルや鉗子等の手術器具を直接挿入して患部の処置を行えるところです。そのため、FESSでは、内視鏡を挿入するのに必要な1cm以下の創で治療を行えるため、皮膚や筋肉のダメージが少なく、術後の創の痛みが軽い、入院期間が短く済むといった利点があります。FESSの適応となる疾患として、腰椎椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄症、一部の頸椎疾患が挙げられますが、術者の技量によってFESSで対応可能な場合と難しい場合があります。個々の症例ごとに、顕微鏡手術とFESSのどちらが、安全性や治療効果の面でふさわしいかを検討し、患者さまにとって最善の治療方法を決定いたします。

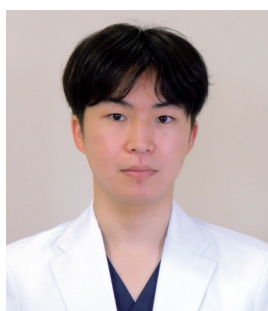


メーが少なく、術後の創の痛みが軽い、入院期間が短く済むといった利点があります。FESSの適応となる疾患として、腰椎椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄症、一部の頸椎疾患が挙げられますが、術者の技量によってFESSで対応可能な場合と難しい場合があります。個々の症例ごとに、顕微鏡手術とFESSのどちらが、安全性や治療効果の面でふさわしいかを検討し、患者さまにとって最善の治療方法を決定いたします。

新任

ドクターご紹介

+++++ Doctor introduction



医師 山本 大慈

10月から赴任いたしました山本大慈と申します。岐阜県出身で、富山大学を卒業し、卒後から北海道で勤務しております。当院では救急外来と入院中の患者さまの治療を主に担当しております。当院へ赴任して2ヶ月が経ちますが、やりがいのある日々を過ごしております。若輩者ですが、今後も患者さま、ご家族の方へ適切で丁寧な診療を提供できるよう努力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

2021年富山大学医学部卒業。2021年4月より帯広厚生病院、2023年北海道大学病院に勤務。
2023年10月より札幌麻生脳神経外科病院勤務。



医師 梅森 秀

10月より北海道大学病院リハビリテーション科より回復期リハビリテーション病棟に赴任いたしました梅森秀と申します。帯広市出身で北海道大学を卒業後、整形外科を数年経験し、現在はリハビリテーション科として日々学ばせていただいています。脳神経外科領域についてはまだまだ分からないことも多く、至らない点もあろうかと思いますが、患者さまの退院後の生活をより良いものにできるよう尽力して参りますのでよろしくお願い申し上げます。

2016年北海道大学医学部卒業。2016年4月より滝川市立病院、国家公務員共済組合連合会斗南病院、市立釧路総合病院、北海道大学病院に勤務。2023年10月より札幌麻生脳神経外科病院勤務。
日本整形外科学会 専門医



麻生すこやかセミナー

市民公開講座 脳卒中・もの忘れ・腰痛 について

2023年11月11日(土)、札幌麻生脳神経外科病院の市民公開講座を札幌サンプラザで開催いたしました。矢野俊介副院長の司会により当院の医師による各分野での病気や症状・リハビリについての講演でした。参加者は、前日からの雪でしたが、132名の方々に出席いただき盛況でした。ありがとうございます。また、会場には放射線科・リハビリ科・栄養科のパネルを展示しました。それぞれ担当の放射線技師・理学療法士・栄養士を配置し、来場者の質問に対応し交流できました。今後も定期的にこのような場を設けていきたいと考えております。

講演内容

講演 1 脳卒中ってどんな病気？

医師 下田 祐介 先生

講演 2 未破裂脳動脈瘤について

副院長 / 脳卒中センター長 中村 俊孝 先生

講演 3 脳ドックともの忘れについて

参事 村田 純一 先生

講演 4 腰痛・手足の痛みでお困りの方へ

機能外科センター長 笹森 徹 先生

講演 5 脳神経外科のリハビリとロボットリハビリ

リハビリセンター長 安彦 かがり 先生



診療受付時間

月～金 午前 8:45～午後 4:00

土 午前 8:45～午前 11:00

※お昼休みはございません

休診：日曜日・祝日・年末年始(12/30～1/3)

医療法人 札幌麻生脳神経外科病院

〒065-0022 札幌市東区北22条東1丁目1-40

TEL 011-731-2321(代表) FAX 011-731-0559

ホームページ <http://www.azabunougeka.or.jp>

交通アクセス

- 地下鉄：南北線 北24条駅下車
(2番・3番出口から徒歩約7分)
- 中央バス：「北21東1」下車、徒歩約2分
- 中央バス：「北24東1」下車、徒歩約2分



ホームページ



当院への バス路線 中央バス

屯田線 02・篠路駅前団地線 36・元町線 東70

花川南団地線 09 14・花畔団地線 16

石狩線・石狩線(トーマン団地行)・札厚線

※お間違いのないようご注意ください

- 往路と復路とで停留所の異なる路線があります。
花川南団地線 14・花畔団地線 16・石狩線・石狩線(トーマン団地行)
- バス停「北24条東1丁目」は旧石狩街道・宮の森北24条通の2カ所あります。